

スゴ技！九谷焼
下絵の世界

九谷焼窯元
松雲堂



～解説会～

平成29年・12月17日(日)
平成30年・1月14日(日)
2月11日(日)
3月4日(日)

[博物館] 午前11時～

[錦窯展示館] 午後1時半～

※錦窯展示館では実際に焼き物に触れて鑑賞いただけます。

～お知らせ～

・資料保護のため1月末一部展示内容を変更します。

・年末年始の休館は12月29日(金)から1月3日(水)までです。

平成29年12月12日(火)カラ
平成30年3月11日(日)マデ

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は開館翌日休館)

～入館料～

*単館：300円
(20名以上の団体250円)

*共通：500円

*高校生以下無料

協力：石川県立九谷焼技術研修所

【第1会場】小松市立博物館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19 ※こまつミュージアム・バス対象施設
TEL.0761-22-0714 FAX.0761-21-7683 ※障がい者手帳等お持ちの方と
その介護者1名は無料

【第2会場】小松市立錦窯展示館

〒923-0931 石川県小松市大文字町95-1 ※詳細は、<http://www.kcm.gr.jp>
TEL : FAX.0761-23-2668

九谷焼窯元 松雲堂

スゴ技！九谷焼 下絵の世界

平成29年12月12日(火)
~平成30年3月11日(日)

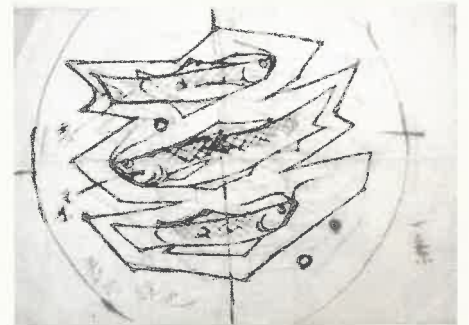
年末年始 12月29日(金)から1月3日(木)まで休館

小松市立博物館では、明治初期、龍助町で開窯した九谷焼窯元「松雲堂」の下絵や型紙、スケッチ等を多数所蔵しています。松雲堂は、主に上絵付け(本焼した陶磁器の上に模様を描き焼成する工程)を生業とする窯元で、画工たちは古九谷写から、海外で持てはやされたジャパネクタニまで時流にのった九谷焼を制作し人気を博しました。戦後、九谷焼業界では陶画工の個性が重視されはじめ、松雲堂の画工たちも作家としての活動をはじめます。

現在は当時の焼き物だけでなく下絵の価値も見直されつつあります。特に明治・大正期に精魂込めて描かれた下絵は、美術品、歴史資料、また現代でも作り手たちの手本として使用されています。

本展では、明治から昭和にかけて使用された松雲堂の下絵を通して、開窯以来の仕事を振り返るとともに、県立九谷焼技術研修所の研修生による復刻作品なども展示します。

【第1会場】小松市立博物館



左：松本佐平「色絵牡丹孔雀図壺」一対(1909年頃、石川県立美術館蔵)、下絵(当館蔵)※下絵のみ1月末より展示

中央：初代松本佐吉「色絵瓜の図輪華中皿」、下絵(当館蔵)※1月末まで展示

右：二代松本佐吉「緑地釉裏金彩魚文大皿」、型紙(当館蔵)※1月末まで展示

【第2会場】小松市立錦窯展示館

松雲堂初代松本佐平の門下であった初代徳田八十吉。工房であった大文字町の町家には、今も上絵付け用の窯(錦窯)が残されています。



初代徳田八十吉、初代松本佐吉合作

「九谷焼歴代画風図花瓶」(1915年、能美市九谷焼資料館蔵)、型紙(当館蔵)

～解説会～

平成29年・12月17日(日)

平成30年・1月14日(日)

2月11日(日)

3月4日(日)

[博物館] 午前11時～

[錦窯展示館] 午後1時半～

※錦窯展示館では実際に焼き物に触れて鑑賞いただけます。

【第1会場】小松市立博物館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19
TEL.0761-22-0714 FAX.0761-21-7683

【第2会場】小松市立錦窯展示館

〒923-0931 石川県小松市大文字町95-1
TEL.FAX.0761-23-2668

※こまつミュージアム・バス対象施設
※障がい者手帳等お持ちの方とその介護者1名は無料
※詳細は、<http://www.kcm.gr.jp>